入札説明書及び設計図書等に対する質問回答書

工事名 : 鋼床版等大規模修繕工事 (2025-湾岸)		問合せ日 : 2025 年 6 月 3 日 回答日 : 2025 年 6 月 5 日
記載箇所	質問	回答
1. 内訳書-14、15 数量総括表38 対象(P215、P212、P201、P180)	1. 上路と下路の2段構造の橋脚で、柱が一直線で無く屈折・偏心している箇所がありますが、提出する見積もりでは地上から上側梁まで一直線にエレベーターを設置する考えで費用計上をすれば良いでしょうか。それとも実施工を想定した構造（下梁までエレベーター、上梁までは吊り構造の昇降足場）での見積もりとしますか。設計書通りの見積計上の場合は、実施工に合わせて設計変更されるものと考えてよいでしょうか。	1. エレベーターの設置箇所については【1-3_金額を記載しない設計書(3)別紙-1(2/4)】をご確認下さい。 エレベーターの設置高さについては、【1-2_金額を記載しない設計書(2)P.19、P.38】の通りでお考え下さい。 設置延長等が変更になる場合は、監督員と協議の結果、監督員が認めたものについては設計変更します。
2. 別紙-1 施工条件2/4 対象(P212、P166)	2. 海上部に橋脚が有る箇所では、昇降設備設置箇所を変更する等の検討が必要と考えます。(遠方からの目視確認ですが、陸上部からでは高所作業車の作業範囲を超えるため) 見積もりは設計書通り、地上からの施工で費用計上すれば良いでしょうか。 実施工が地上からの施工と異なる場合は設計変更の対象と考えて良いでしょうか。	2. 「対象(P212、P166)」については、「対象(P211、P167)」として回答します。 エレベーターの設置箇所については【1-3_金額を記載しない設計書(3)別紙-1(2/4)】に記載のとおりと考えております。
3. 別紙-1 施工条件1/4 対象(P164他)	3. 箱桁内足場のみ施工箇所については高所作業車が計上されていませんが、足場材の取込と取出に高所作業車が必要と考えます。 見積りは特記仕様書の通り高所作業車を計上しないで良いでしょうか。 また実施工で高所作業車による足場材の取込・取出を行う場合は設計変更の対象と考えて良いでしょうか。	3. 箱桁内の足場については、【1-3_金額を記載しない設計書(3)別紙-1(3/4)】の通りです。 また、【1-3_金額を記載しない設計書(3)P.4 4-2-4】について誤記載がありましたので、本回答に添付する別紙1のとおり差替えさせていただきます。

<p>4. 内訳書-14 足場数量根拠図 対象 (P164、P212、P215)</p>	<p>4. 予防保全箇所足場の足場数量が逸漏しています。 見積もりは設計書通り(足場数量根拠図記載の数量)での計上で良いでしょうか。 足場数量が逸漏の場合は契約後に設計変更されるものと考えて良いでしょうか。</p>	<p>4. ご質問のとおりです。 なお足場数量については、設計書の通りでお考え下さい。 未計上の足場数量については、設計変更にて追加します。</p>
<p>5. 別紙-1 施工条件1/4 対象 (P201、P180、P179)</p>	<p>5. 桁下足場の施工において、下り線の下方に上り線が位置する箇所では上り線の車線規制が必要です。 P201、P180、P179については高速道路上作業が必要と考えます。 見積りは特記仕様書の通りこの3箇所の高速道路規制を無しで計上すれば良いでしょうか。 また実施工で高速道路上作業となった場合は、設計変更の対象と考えて良いでしょうか。</p>	<p>5. 海下S-192～海下S-199を施工の際には上り車線を高速道路規制を行い施工することを考えております。 ※下り線施工時には上り線を規制する範囲としては、【1-3_金額を記載しない設計書(3)別紙-1(1/4)】をご参照下さい。</p>
<p>6. 別紙-1 施工条件1/4 対象 (P192～P200)</p>	<p>6. 路下(一般道)の規制に関して、P201～P192の桁下足場の施工箇所は道路中央線付近の上方にありますので、対面での2車線規制が必要と考えます。 見積計上は、設計書他に2車線の記載がありませんので、各所1車線(路下C)で良いでしょうか。 また実施工で2車線規制が必要となった場合は、設計変更の対象と考えて良いでしょうか。</p>	<p>6. 「対象(P192～P200)」については、「対象(S192～S200)」として回答します。 S192～S200の交通規制については、各所1車線の路下C規制で計上しています。 車線規制が必要となった場合は、監督員と協議の結果、監督員が認めたものについては設計変更します。</p>
<p>7. 足場数量根拠図</p>	<p>7. 検査路を通路足場として使用する場合の第三者飛来落下災害の防止対策について、検査路からの塗料等の飛来落下に備えて、幅木とシート養生が必要と考えます。 見積では、この養生工を未計上で良いでしょうか。 また実施工でこの養生が必要となった場合は、設計変更の対象と考えて良いでしょうか。</p>	<p>7. 検査路の養生工については未計上でお考え下さい。 監督員と協議の結果、監督員が必要と認めた場合については設計変更します。</p>

<p>8. 別紙-1 施工条件1/4 対象 (P166)</p>	<p>8. P166の桁下足場に関して、き裂39と40の位置がP166に近く、海面上に位置し地上からの足場施工が出来ないようにも見えます。(遠方目視ですが)その場合に本線上からの橋梁点検車による施工となります。見積計上は設計書通りの地上から施工で良いでしょうか。 また実施工で橋梁点検車による施工が必要となった場合は設計変更の対象と考えて良いでしょうか。</p>	<p>8. 「対象 (P166)」については、「対象 (S166)」として回答します。 S166については、P167に昇降設備を設置し、通路として足場を設置し、施工することを考えております。 ※参照:「設計図_鋼床版等大規模修繕工事(2025-湾岸)_海S-166足場数量根拠図 43/60」</p>
<p>9. 足場数量根拠図47、49 対象 (P192、P193)</p>	<p>9. 足場数量根拠図の数量について、P192は2.0×2.0×2箇所、P193は2.0×2.0×5箇所ではありませんか。不明な数字による数式が有りますが、見積計上は図面の数量で良いでしょうか。 また根拠図記載数量と実施工数量が異なる場合は、実施工数量での設計変更と考えて良いでしょうか。</p>	<p>9. 「対象 (P192、P193)」については、「対象 (S192、S193)」として回答します。 足場数量については、設計書の通りで計上して下さい。 なお足場数量については、設計変更します。</p>
<p>10. 内訳書-4、14</p>	<p>10. 補修溶接について、溶接条件を決める測定(変位計測等)は含まれない(必要ない)と考えて良いでしょうか。</p>	<p>10. 補修溶接については、溶接条件を決める測定(変位計測等)は含まれております。 なお詳細については【阪神高速道路株式会社 既設鋼床版疲労対策マニュアル】2023年 7月改訂_【参考資料】補修溶接工法_P.5_「1.2.4 現地測定一般」をご確認下さい。</p>
<p>11. 内訳書-4、14</p>	<p>11. 予防保全補修タイプ◎について、適用欄にグラインダー仕上げが記載されていませんが、必要ないのでしょうか。 見積計上は設計書通りのグラインダー仕上げ無しで良いでしょうか。 またグラインダー仕上げが必要な場合は、設計変更の対象と考えて良いでしょうか。</p>	<p>11. 設計書通り、グラインダー仕上げ無しで考えておりません。</p>

<p>12. 内訳書-4</p>	<p>12. 補修タイプ◎-2について、適用欄にグラインダー仕上げが記載されていませんが、必要ないのでしょうか。 見積計上は設計書通りのグラインダー仕上げ無しで良いでしょうか。 またグラインダー仕上げが必要な場合は、設計変更の対象と考えて良いでしょうか。</p>	<p>12. 設計書通り、グラインダー仕上げ無しで考えておりません。</p>
<p>13. 内訳書-6、14</p>	<p>13. 高所作業車の計上が下面足場と登り桟橋となっておりますが、箱桁内足場材の取込・取出、及び当て板部材の取込と撤去材の取出に高所作業車が必要と考えます。 これらに要する高所作業車費は見積もりには計上しないのでしょうか。 また高所作業車を計上しない場合は、昇降足場を用いた部材運搬工を見積もり計上するのでしょうか</p>	<p>13. 上記質問「3.別紙-1 施工条件1/4 対象(P164他)」の質問回答の通りです。</p>
<p>14. 内訳書-4、6、12、14</p>	<p>14. 箱桁内の足場材他の運搬について、足場材、新設及び撤去部材等のマンホールから施工箇所までの運搬はダイヤフラムを乗り越え平坦でない箇所を人力で行いますが、これに要する労務費は見積計上に反映しない考えで良いでしょうか。それとも取込取付費に含めて考えれば良いのでしょうか。 また、これが含まれない場合は設計変更の対象となりますか。</p>	<p>14. 箱桁内の足場材他の運搬については、ダイヤフラムを乗り越え平坦でない箇所を人力で行う労務費を反映する取込取付費でお考え下さい。</p>
<p>15. 鋼床版き裂補修図3、19、20、21 対象(P164、P212、P215)</p>	<p>15. 半円切欠き(予防保全含む)の施工箇所について、鋼床版上面のSFRCコンクリート舗装は施工済みでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>15. 「対象(P164、P212、P215)」については、「対象(S164、S212、S215)」として回答します。 鋼床版上面のSFRCコンクリート舗装の施工状況は以下の通りです。 ・S164: 施工済 ・S212: 未施工 ・S215: 未施工</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

2025年 6月 5日
阪神高速道路株式会社

入札公告資料の修正について

2025年5月12日付けで指名通知した鋼床版等大規模修繕工事（2025-湾岸）について、「1-3_金額を記載しない設計書(3)_鋼床版等大規模修繕工事（2025-湾）」についての記載に齟齬がありましたので別紙1のとおり修正いたします。

以上

別紙1

1-3_金額を記載しない設計書(3)

正誤表

誤

3-3-6 現場施工に先立ち、既設塗膜の履歴調査を実施すること。なお、既設の塗料に含まれる鉛等の有害物調査を監督員が指示した場合は設計変更する。
また、鉛等の有害物が確認された場合は、塗装剥離・養生方法等について監督員と十分打合せをすること。なお監督員が認めた必要な費用については、設計変更で追加する。

第4章 仮設工

4-1 仮設工は、本特記仕様書、設計図に明記したものおよび下記条件以外については、原則として設計変更しない。

- 1) 工期の変更を行った場合。
- 2) 構造変更及び施工箇所の変更を行った場合。
- 3) 管理者協議等により作業時間帯、施工方法が変更になった場合。

4-2 橋梁足場等設備工

4-2-1 本工事で設置撤去する径間毎の橋梁足場等設備（吊り足場、昇降設備、エレベーター）の内容、設置期間については、別紙-1のとおりを考えている。

なお、路下利用を踏まえ占有者との協議等により、足場区分の変更を監督員が指示した場合は設計変更する。関係管理者等との協議により吊り足場の施工方法が変更となった場合、監督員が認めたものについては設計変更する。

また、各鋼床版補修足場へ移動するための通路足場については、監督員が必要と認めたものについて設計変更する。

また、現場状況及び管理者協議等により昇降設備の設置が不可能となった場合は設計変更する。

4-2-2 橋梁足場等設備（登り棧橋）は高所作業車による施工を考えている。

なお、関係管理者等との協議により施工方法が変更となった場合、監督員が認めたものについては設計変更する。

4-2-3 本工事で設置する吊り足場については、パイプ吊り足場（床面板張り防護、床面シート張り防護、朝顔、朝顔部シート張り防護）を考えている。なお、関係管理者協議等により、粉塵・塗料飛散防止のための特別な防護工及び安全対策が必要となった場合には、別途協議する。

4-2-4 橋梁足場等設備（箱桁内足場）部材は、橋脚梁上または既設マンホールまでは高所作業車による運搬を考えている。箱桁内への取り込みについては、橋脚梁上または既設マンホールより取り込み、足場設置箇所までの小運搬を考えている。

なお、関係管理者等との協議により施工方法が変更となった場合、監督員が認めたものについては設計変更する。

4-3 交通管理工

4-3-1 高速上及び路下平面街路の規制作業については、共通仕様書のほか下記に示すマニュアル等に従い保安施設、交通誘導警備員を配置し、交通の円滑化を図り、作業区域内と第三者の安全確保に努めること。なお、一般街路上での保安規制に係る費用は共通仮設費（率）に含まれている。高速道路上（湾岸線）の規制に従い設置する工事予告看板については、風等による転倒を防止するため、別紙-7、8（参考図）に基づくものを使用することとし、詳細については監督員と打ち合わせること。

なお、管理本部神戸地区保安施設マニュアルの改訂を予定しているため、改訂した場合は監督員より連絡するので打合せすること。マニュアル改定の伴い保安規制に係る費用が変更となった場合は設計変更する。

1) 高速上規制

管理本部神戸地区保安施設マニュアル（2021年4月）

正

3-3-6 現場施工に先立ち、既設塗膜の履歴調査を実施すること。なお、既設の塗料に含まれる鉛等の有害物調査を監督員が指示した場合は設計変更する。
また、鉛等の有害物が確認された場合は、塗装剥離・養生方法等について監督員と十分打合せをすること。なお監督員が認めた必要な費用については、設計変更で追加する。

第4章 仮設工

4-1 仮設工は、本特記仕様書、設計図に明記したものおよび下記条件以外については、原則として設計変更しない。

- 1) 工期の変更を行った場合。
- 2) 構造変更及び施工箇所の変更を行った場合。
- 3) 管理者協議等により作業時間帯、施工方法が変更になった場合。

4-2 橋梁足場等設備工

4-2-1 本工事で設置撤去する径間毎の橋梁足場等設備（吊り足場、昇降設備、エレベーター）の内容、設置期間については、別紙-1のとおりを考えている。

なお、路下利用を踏まえ占有者との協議等により、足場区分の変更を監督員が指示した場合は設計変更する。関係管理者等との協議により吊り足場の施工方法が変更となった場合、監督員が認めたものについては設計変更する。

また、各鋼床版補修足場へ移動するための通路足場については、監督員が必要と認めたものについて設計変更する。

また、現場状況及び管理者協議等により昇降設備の設置が不可能となった場合は設計変更する。

4-2-2 橋梁足場等設備（登り棧橋）は高所作業車による施工を考えている。

なお、関係管理者等との協議により施工方法が変更となった場合、監督員が認めたものについては設計変更する。

4-2-3 本工事で設置する吊り足場については、パイプ吊り足場（床面板張り防護、床面シート張り防護、朝顔、朝顔部シート張り防護）を考えている。なお、関係管理者協議等により、粉塵・塗料飛散防止のための特別な防護工及び安全対策が必要となった場合には、別途協議する。

4-2-4 橋梁足場等設備（箱桁内足場）部材は、橋脚梁上または既設マンホールまでは高所作業車による運搬を考えている。箱桁内への取り込みについては、橋脚梁上または既設マンホールより取り込み、足場設置箇所までの小運搬を考えている。ただし高所作業車および規制費については、未計上である。

なお、関係管理者等との協議により施工方法が変更となった場合、監督員が認めたものについては設計変更する。

4-3 交通管理工

4-3-1 高速上及び路下平面街路の規制作業については、共通仕様書のほか下記に示すマニュアル等に従い保安施設、交通誘導警備員を配置し、交通の円滑化を図り、作業区域内と第三者の安全確保に努めること。なお、一般街路上での保安規制に係る費用は共通仮設費（率）に含まれている。高速道路上（湾岸線）の規制に従い設置する工事予告看板については、風等による転倒を防止するため、別紙-7、8（参考図）に基づくものを使用することとし、詳細については監督員と打ち合わせること。

なお、管理本部神戸地区保安施設マニュアルの改訂を予定しているため、改訂した場合は監督員より連絡するので打合せすること。マニュアル改定の伴い保安規制に係る費用が変更となった場合は設計変更する。

1) 高速上規制

管理本部神戸地区保安施設マニュアル（2021年4月）